

アンケート集計結果

リトゥンアフターワーズ afterwards

ここにもいい

山縣良和と綴る ability of fashion expressions written with Yoshikazu Yamagata
ファッション表現のかすかな糸口

アンケート実施期間
2024年4月27日(土)～2024年6月16日(日)

回答数
267

観覧料	
一般	800円
割引	600円

1. 性別

男性	女性	その他	無回答	計
85	174	2	6	267
31.8%	65.2%	0.7%	2.2%	100%

2. 年齢

10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計
4	31	67	55	37	43	21	5	4	267
1.5%	11.6%	25.1%	20.6%	13.9%	16.1%	7.9%	1.9%	1.5%	100%

3. 職業

会社員	自営業	公務員	主婦・主夫	学生※1	無職	その他※2	無回答	計※3
99	42	16	14	48	19	27	4	269
36.8%	15.6%	5.9%	5.2%	17.8%	7.1%	10.0%	1.5%	100%

※1 学生内訳: 小学校2名、中学1名、高校5名、大学14名、短大4名、専門4名、IMAS1名、未記入17名

※2 その他内訳: パート、ファッションデザイナー、教員、俳優、劇作家、美容師、染織家、幼稚園長、ミュージシャン 等

※3 複数回答者有りのため、合計不一致

4. 住まい

前橋市内	群馬県内※4	群馬県外※5	無回答	計
60	46	158	3	267
22.5%	17.2%	59.2%	1.1%	100%

※3 県内内訳: 高崎市13名、伊勢崎市3名、渋川市1名、桐生市4名、太田市3名、みどり市2名、藤岡市1名、沼田市1名、館林市2名、吉岡町1名、榛東村1名、みなかみ町2名、千代田町1名、昭和村1名、中之条町1名、未記入9名

※4 県外内訳: 東京都72名、神奈川県23名、埼玉県17名、栃木県1名、千葉県7名、茨城県6名、山梨県6名、福島県1名、長野県1名、新潟県5名、岩手県1名、宮城県2名、青森県1名、愛知県1名、岐阜県2名、京都2名、大阪府1名、福岡県1名、未記入8名

5. 当館までの交通手段

自動車	電車	バス	タクシー	自転車・バイク	徒歩	無回答	計※5
130	106	7	1	8	21	4	277
46.9%	38.3%	2.5%	0.4%	2.9%	7.6%	1.4%	100%

※5 複数回答者有りのため、合計不一致

6. 来館回数

はじめて	2～5回	6～10回	11回以上	無回答	計
161	66	12	23	5	267
60.3%	24.7%	4.5%	8.6%	1.9%	100%

7. 展覧会を知ったきっかけ(複数回答可)

ポスター※6	チラシ※7	広報まえばし	新聞	雑誌	インターネット・SNS※8	テレビ・ラジオ※9	知人(クチコミ)	その他※10	無回答
30	25	8	8	3	116	2	81	32	6
9.6%	8.0%	2.6%	2.6%	1.0%	37.3%	0.6%	25.0%	10.3%	1.9%

※6 ポスターを見た場所: アーツ前橋、前橋駅、IAMAS、元気21 等

※7 チラシを見た場所: アーツ前橋、太田市美術館・図書館、自然史博物館、いわき市立美術館、吉岡文化センター、病院、大学、ホテル、書店 等

※8 インターネット内訳: Instagram44名、Instagram広告1名、X(旧 ツイッター)17名、アーツ前橋ホームページ3名、その他(リトゥンアフターワーズのアカウント、一般の広告の投稿、Facebook、google、覚えていない 等)

※9 テレビ・ラジオ内訳: まえばしCITYエフエム1名、未記入1名

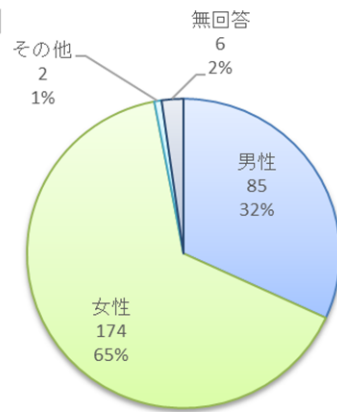
※10 その他内訳: 大学のサークル、プロジェクションマッピング 等

8. 展覧会満足度

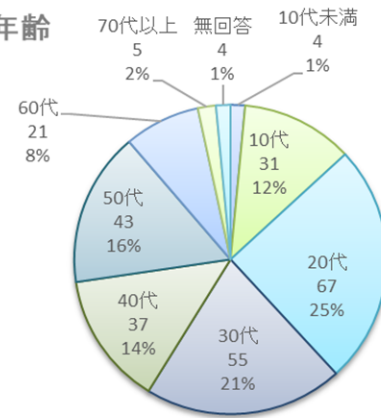
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	計	
展覧会の企画内容	227	22	10	3	0	4	266	※11
	85.3%	8.3%	3.8%	1.1%	0.0%	1.5%	100%	
入場料	211	10	33	4	0	8	266	※11
	79.3%	3.8%	12.4%	1.0%	0.0%	3.0%	100%	
展覧会のボリューム	229	22	7	4	0	5	267	
	85.8%	8.2%	2.6%	1.5%	0.0%	1.9%	100%	
スタッフの対応	215	21	17	6	2	6	267	
	81%	8%	6%	2%	0.7%	2%	100%	
施設面 (美観、清掃状況等)	236	19	7	1	0	4	267	
	88%	7%	3%	0%	0%	1%	100%	
アーツ前橋全体の印象	217	32	8	4	1	5	267	
	81%	12%	3%	1%	0.4%	2%	100%	

※11 「普通と やや不満 の間」という回答1件あり

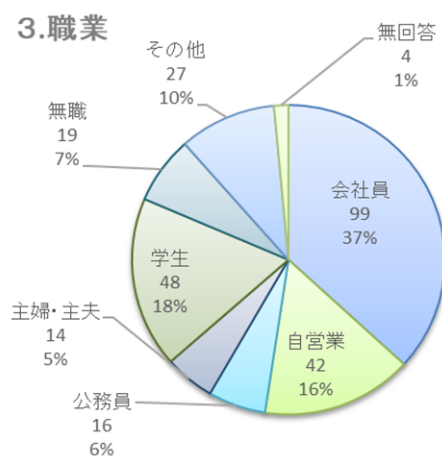
1.性別



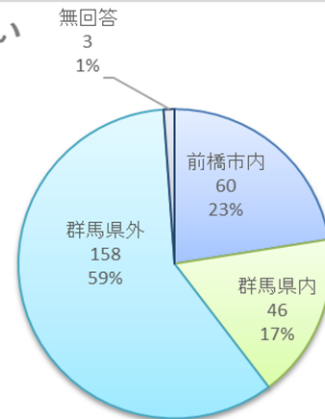
2.年齢



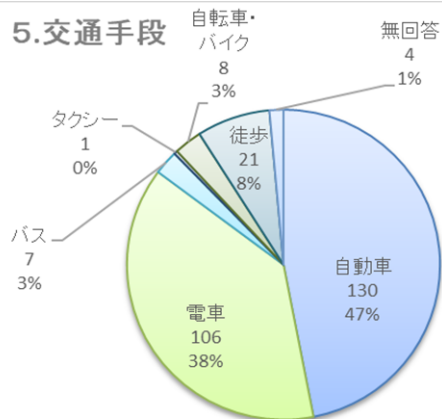
3.職業



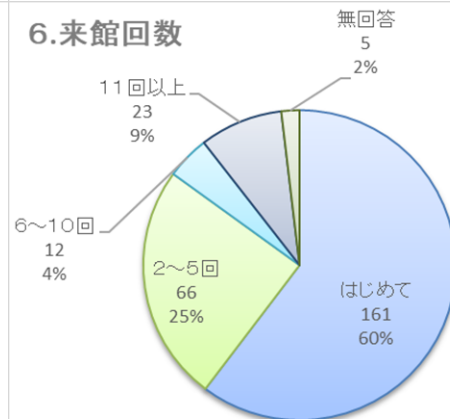
4.住まい



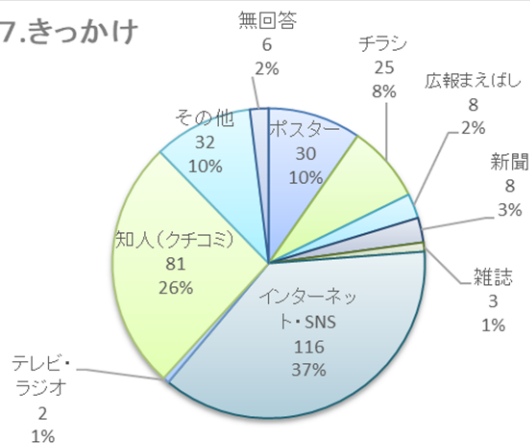
5.交通手段



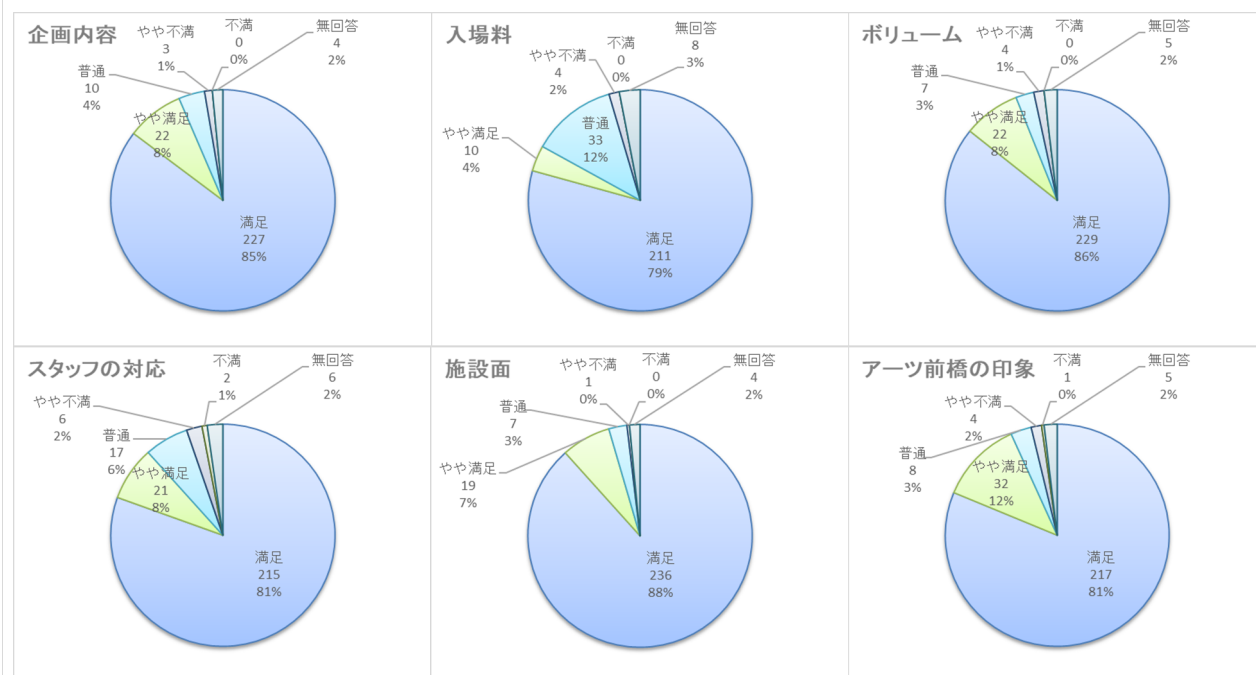
6.来館回数



7.きっかけ



8. 展覧会の満足度



9. 印象に残った作品や感想、意見等

山縣氏の展示衝動的でした。とてもよかったです。
“アート”“美術館”の概念にとらわれず、新しい表現やインスピレーションの生れる場所であるというアーツ前橋の気概を感じた気がしました。ファッション、気かざることの表現の幅を知ることができました。
是非PRをして、小中高生の入場を増やしてほしい。あだち充展の実現
まちなみも洗練されており、とても刺激を受けました。山縣さんの展示もすばらしいです。
赤が鮮明でキレイ。目がくぎづけになりました。
絵画を中心にした述路展を見てみたい！
日常／非日常のコントラスト、鮮明さに衝撃を受けた。様々な感情を楽しむことができた。
この作家の人の展示またやってほしいです。
すごく愛と、やるせなさとしてそれを乗り越えてゆこうという凛とした姿勢が素敵でした。
モノの持つエネルギーをととても感じられる作品・展示で興味深かったです！
よくわからないけど皮肉を感じました。
第0章～第5章まですべての作品本当によかったです。確証のテーマから作品、展示方法までドラマティックで感動しました。すべての作品が息をしていて、いまにも動き出しそうな生々しさが感じられて素晴しかったです。すべてが確実にここに存在している熱が伝わってきました。こんなに素敵な展示が800円は安すぎます！！もっととってください！！
最後までどうなるかとヒヤヒヤしましたが、最後、ここにいてもいい、という肯定のようにとらえられる構成で泣きました。アーツっぽい展示と、他の人にきいていたのですが、私もそのように感じました。ボリュームーでおなかいっぱい。ザクザクと切られるけど、さいごにやさしくハグしてもらえる。やはり、大好きです。ありがとうございました。ここにいてもよくてよかった。
自発的に、こういうような施設で鑑賞するのは初めてだった。地元は自然豊かで、情緒があふれる場所。この展覧会も、人工的だけど情緒が面々、立体から山縣氏の“writtenafterwards”を通して、最初は頭そして全身に伝わった気がした。
初めて今回の製作から一緒に関わらせていただき完成した作品たちや展示を見ることができ、とてもうれしかったです。大きなモビールは圧倒されました。
今回の展覧会は、お手伝いをするかたちで知りました。何もなかった所からこんなにすばらしいものができるなんて感動です。このしげきをこんごにいかしていきたいです。
ファッションを学んでいるのですが、山縣さんの作品はどれも想像の上を行くデザインで、見ていてとてもおもしろいし、こんなデザインや服の作り方があるんだなととても参考になりました。
5章 ここにいてもいいを見て、それまでのてんじから5章にかけて説得力が感じられた。独特でおだやかな展示のすべてにワクワクした。
軽トラ、タヌキ
大変楽しく興味深かった。来られて良かったです。
どっぷり浸った感じです。満足of満足です。プールで長時間遊んだ後の満足と疲労感、(世界から)まだぬけきれてない感じとても良かったです。あと、来館したときに妊婦さんや乳幼児づれのお母さんが居たのもとても良かったです。
全部インパクト！！

作品に番号がついていなかったので自由に心ゆくまで見る事ができた。マネキンの展示の間をぬって歩く感じが新鮮だった。こんな展示の仕方があるのかと思った。ビデオ等については、じっくり見る人のためにソファ等置いてもいいのでは。
入口の百目の横のテレビからエヴァンゲリオン「シト新生」の音楽が流れていて、心をつかまれてしまった。44歳の同じ年齢の自分が見てきたものとのリンクが少し感じられて本当に面白かったです。
今回の展示すごく興味深く楽しかったです。これからの作品作りにヒントもらいました。
素晴らしかったです。どうやってるんですか？
混沌のテーマや、今ここに、という、このキーワード、テーマなど
自分にとってのアパレルや服に対するあたりまえが大きく変わりました。アートが与えてくれる想いの強さを受けとめきれるように、自分の考え方や価値観を見直したいと思いました。ありがとうございます。
5-1 リトウンアフターワーズインスタグラムでこの作品を見て、東京から見に来ました。
実？の記録
#2 After all
芸術はムズイ
すごく良かったです。涙が出ました。ありがとうございました。とちゅうにあったきゆうけいする所も良かったです。詩を読んで涙が出ました。(また笑)
すべてがすばらしい
企画展
目のばけものがいんしょうてきだった
ステキでした。ありがとうございました。
ギャラリー2にずっといたいと思った。
見応えあって、大変良かったです。前から山縣さんの展示がみたかったので。入場料易くてびっくりしました😊また来ます。
また来ます。現在制作中なのでつながれない部分をリセットしてから
光と影(陰)のコントラストがとても心に残りました。
見応えありました。
白いまじよ(竹のぼうきがきにいったから)
SNSで見て初めて来たのですが、展示の仕方がスペースと合っていて良かったです
とても良かった。考えさせられる。今の世界に悲観することの中にも日常があり、日々の自分の幸せを見つけようとする苦悩も喜びも感じた。
数年前にFASHION IN JAPANでの展示をみてずっと気になっていました。想像以上に社会性と戦争、ファシズムへの批判的なまざし、そして民俗学のベースがあったことを知れてとても感銘をうけたし、ノマドのコレクションの意味がよくわかった。でも最後は結局自分の半径5m以内のことになるのかと少しがっかりしてしまいました。
デザイナー、ファッション、「こののがっこう」すべてに興味をもちました。
かいだんの所にあった作品が印象に残りました。見ごたえたっぷりで楽しめました。ありがとうございました。
「勝手にそうになってしまう」を大事にしたいと思った。
最後の部屋の1つ手前の赤ちゃんの映像がよかった。全体に気味が悪いものが多かったので、ホッとしました。
最近良く見聞する「今 ここ」という言葉の意味など考えさせられる内容だなと思いました。「ここにいていい」心にひびく言葉です。
山縣さんの活動、作品、大好きです。見にくられてよかったです。昔、バンタンで授業を受けた事は自分に大きな影響を与えてくれました！
丁寧な説明の文章がとても良かった。
coconogaccoの学生作品、writtenafterwardsのショーと実際の服、インスタレーション
「ほの暗くて寂しくて辛い思索の先に何があるのか？」そんな問いに一筋どころではない光を差してくれる展示でした。素敵な時間と空間をありがとうございます。 ※質問項目8:満足度の入場料 「①満足」と「⑤不満」の両方に〇があり、「もっと高くてもいい」と記載有り。(①満足で集計)
0章、畳みたいな布、前橋・絹のまちのつながり
言葉で言い表しきれない、不安感だけではなく、最終章からは少しの希望が見えた気がしました。初めて作品をみましたが、とても良かったです。
赤チェックにひかれた。よかった。
とても良かったです。暗いへやがあって。
とても不思議な世界観の展示会、様々な場面で心を動かされました。本当に面白かったです。ありがとうございました。
魔女と妖怪のところがおどろおどろしくてこわかったけど、それが印象に残った。こわい世界と明るい(さいごの“ここにいてもいい”)世界の対比が美しかったです。
つるしびなのやつ。入場券のスタッフはあまり言わないのに、中のスタッフにしつように荷物をロッカーにといわれ不快だった。
今年4月に104才で亡くなった母親が残した布(布地・洋品店を長年やってきました。)を、どなたか使っていただけませんか？ ※住所・氏名・電話番号の記載あり。
writtenafterwardsさん。伝えたいエネルギー
アフタースクールのエネルギーが凄かったです。
私の好きなファッションディレクターの方がインスタグラムで投稿していたことが、きっかけでこの展覧会を知りました。群馬県でこのようなファッションをメインとした展覧会はずらしいと思い開催されていることが嬉しいと思いました！地元である群馬県で沢山の作品に触れることができ、非常に満足です。また、気になっていたアーツ前橋にもこれを機に来ることができて良かったです♡
綴さんの表情に体温を感じました。

あこがれだった山縣さんの作品を、いままでYoutubeなどでしかコレクションを見れなかったのが、実さいに見ることができ、はだで感じれました。特に様々なことになやみ、世界に対して思って考えていた先が「家族」というパーソナルで身近な幸福ということが、自分とつながって、うれしかったです。
初めてリトゥンアフターワーズの作品が観たく来場しました。章だてがすばらしく、山縣さんのセンス、思考に感銘をうけました。巡回してもらいたい展覧会です。ここまで満足度の高い展覧会は久しぶりで、キュレーションの素晴らしさにも感動しました。
子連れだったが、スタッフがかんししているようでイヤだった 娘(5才)にも見せたかった。(ファッション好きなので)遠方からなので本日はお留守番でした。
スタッフの方の話し方やお声がけが親切・かつ穏やかで素晴らしかったです。子連れでしたが、安心してみることができました。子どもにも絵本を借して下さるなどありがとうございました。
今回ないようがとても濃く、色んな事を考えて感じることができました。命の尊さや、もろさ、力強さなどを感じられてとてもいい影響をうけました。
マヌカンを上手く使って作品の動きを感じられて、空間に引き込まれました。涙が出る程良い展示でした。遠かったけど、本当に来て良かったと思いました。
第2章、またみたいです。
自分でもわからないけれど、この展覧会のためだけに来たいと思えました。その理由、何に惹かれているのかを来て、観て、山縣さんの作品から感じる「愛しさ」だとわかりました。暗いテーマが多いけれど、どの作品もあたたかかったです。 ※質問項目8:満足度の入場料 「④やや不満」欄外に「もっと高くても全然良いです」と記載あり。
災害、戦争がある時に、豊かに暮らしている私達に造った被災物を見るに耐えない。せめて一輪の花をそえて欲しかった。
色々かんじるものかんがえるものが多かったのでtwitterでつぶろうと思います。つづくんかわいかったです。
リトゥンアフターワーズの歴史をみれて楽しかったです。以前、ここの学校のドローイングコースに通っていました。とても楽しい時間でした。ありがとうございました。
第4章と第5章の対比がすごかった。特に4章が今の暗い状況とあまりにだぶりすぎて心苦しいかんじがした。3章の映像の前にいすがあるとありがたいです。
山縣さんの作品をこんなに沢山みれてとてもぜいたくでした。コレクションムービーもみれてよかった。Up Downがあつて最後はとても幸せなシメ。感動しました。何度もみたいです。全国巡回展してほしいです。応援しています。
10人十色の作品にあえるおもしろさがあり、今回の作品も、ユニークで、生地、服を、使って、メッセージをこめていて、十分理解できないけれど、表現はそれぞれで、おもしろく見せてもらいました。ありがとうございました。
章による部屋の明るさの違いが、その章のふんいきに合っていて良かったです。1-1の迫力もすごく良かったです。観に来て良かったです。
膨大なエネルギーをあびました。 とてもすばらしい展示で大大大まんぞくでした。ありがとうございます。いっぱいシゲキもらいました。 実？の記録が印象的でした。
館内が綺麗で小さな子供がたくさんいて活気がありました 作者の起承転結を感じとれたので、見に来て良かったです。福祉の仕事に活かしたら良いと感じました。 迷っていたのですが見に来て良かったです。
堪能しました。作品も資料も見応えがあつて、あれこれ見てしまいました。時代をどうみるかや装いと時代の関係を改めて考える契機になり、自らも学びたいと思いました。(その分、図録がないのだけが残念でした)
初めて山縣義和さんの作品を生で拝見しました。ボリューム、ライティング、すべてが美しく、3時間かけて見に来て良かったです。4章から5章にかけての明暗の対比に鳥肌が立ちました、忘れられません。見に来て本当に良かったです。ありがとうございました。
展示内容、空間ともにとっても素晴らしかったのですが、アーツ前橋の売店で売られている商品や、図書館のような美術関連図書が自由に読めるスペースがあり、感動した。
ヤバイ面白い
群馬で見れると思っていなかったような展示をしてくださっていて、本当に感動しました！古着の傘のようなドレスは、圧巻でした。ファッションを東京で学び、アパレル企業で働いて、Uターンで群馬に戻ってきて良かったです。
昭和時代の製品が懐かしかったです。令和では昭和ノスタルジーと騒がれ昔のデザインのもの見るのがあったのでデザインの変化や時代の巡りが気になりました。作品を観覧できて良かったと思いました。
とても素敵な展覧会でした。 楽しかった・・・！
第5章のドレス。明るくて希望を感じて美しかった。少しなつかしさも感じた。 孤独のトポス、集団と流行、ファッションを通じて伝えられることの多さを感じた。 世の中についての自分の理解が深まった。服を通した表現が、とても興味深かった。 映像でしか見られなかった作品や服が現物で見れて感動しました。最後のベビードレスは音楽もあいまってとても温い気持ちになった。このような機会をありがとうございました😊
すばらしかった、ここでしかできないと思う キュレータートークに参加しました。作品ごとのキャプションが、なかったのでより作品を楽しめました。 素敵でかわいいのですが、何か怖いなと思いました。なぜかな・・・ 知らない世界が知れて面白かったです。少しだけホコリっぽかった。それもアートなのでしょうか。
4月に長女が産まれたこのタイミングで見れたことを嬉しく思います。会期ギリギリでしたが、来て本当に良かったです。 始めは少しおどろおどろしい、死をイメージさせるような空気から一転、第5章の希望に満ちた展示がとても印象に残りました。4月に子どもが生まれたので尚更、感動しました。